



## 第23回

発行日：令和7年8月1日

発行者：「じねんじょ」を育む会

会長 池内京子

下関市生野町2丁目28-20

社会福祉法人じねんじょ内

# 「じねんじょ20年 これからを考える」

「じねんじょを育む会」会長 池内 京子

下関養護学校（現・下関総合支援学校）開校から46年経ち、今ではどんなにしょうがいの重いお子さんも通学が可能になりました。学校には看護師さんが常駐し、適時、体温や酸素濃度を測り、安全な授業が組まれています。給食に刻み食やミキサー食・とろみ食が準備され、保護者は安心してお子さんを学校に送り出し、心身に余裕が生まれました。周りに同年齢の友達や先生もたくさんいて、行事にも参加でき、「医療的ケア児」も学校生活を楽しむことができるようになりました。「就学猶予」「就学免除」の名の下に教育を諦めていた時代があったとは信じられないような進展です。在宅訪問学級児は激減しました。半世紀かかってようやくここまでになったこと、様々な機関の皆様が努力して下さったことを、決して忘れることはありません。

初期の在宅児は中学部卒業後、高等部には行けませんでした。青山庵を経て「じねんじょ」に通い、やっと親子共々落ち着ける場所にたどり着きました。それからの数年は不安なく過ごしましたが、今また、世に言う「50～80問題」がここにも容赦なく忍び寄り、お母さんたちは再びこれから先を案じておられます。

### 青山庵：重症心身障害児者支援の胎動

平成2年（1990年）：池内京子・賢二ご夫妻が自宅を提供し開設



「青山庵母の会」は月一度、「じねんじょ」関係者だけでなく、他施設を利用されている方のお母さんも、既にお子さんを亡くされた方も、ボランティアさんも集まります。グループホームに入ったけどなじめなくてまた在宅に戻ったお子さんの心配、配偶者を亡くし母親一人で頑張っている方、そのお母さんたちが後期高齢者になられ、親亡き後の不安だけでなく、ご自身の健康維持、認知症への対策等、様々な課題が山積しています。

それは、お子さんを自宅で護るか施設に入れるかという二者択一ではなく、根本的な生き方の決断の時を暗示しているかのようにも思われます。今はまだ確実な答えはみつきませんが、私はこう思っています。



お母さんたちはこの子を産み育てた、そうでない人生はなかった、替わることでもできなかったご自身の人生です。健常児の養育に比べれば、《怒》や《哀》が重かったことは察するに余りあります。でも、どこかにわずかでも《喜》も《楽》もあったのではないのでしょうか。我が子と過ごした数十年を振り返れば、その時間はご自分の歩みそのものでした。「誰にも容易にできることではない難しい子育て」をこれまで長年やって来られたのです。我が子への深い愛情があってこそ、それができたのです。迷いながらもひとつの道を間違わず歩んできたことに、どうか誇りを持って下さい。「この子は私が育てました」と堂々と胸を張って欲しいのです。誰が褒めてくれなくても、ご自分でご自分を褒めて下さい。その親子の絆は何にも勝るお母さんの宝物です。普通の子育てすらしたこともない私に説得力はありませんが、「人としての誠」をたくさんのお母さんたちが教えて下さいました。私にはそのことが宝物であり、いつも心の中で輝いています。



これからもお子さんと一緒に日々をきちんと生きていきましょう。私もそうします。

私はずっと、「お母さんたちお一人お一人に表彰状をあげたい」と思っています。

◎「じねんじょを育む会」から下記の3つの活動に助成金を支出しています。

### 1. 社会福祉法人じねんじょ 20周年記念祝賀会

令和6年11月2日に下関グランドホテルにて開催されました。金原洋治理事長より、「じねんじょが歩んできたこと これからのこと」と題して、スライドを通して、じねんじょが出来るまで、下関市の重症心身障害児者の地域支援活動の経過から始まり、じねんじょが「今後どのような役割をはたせばよいのだろうか」などのお話がありました。それぞれの20年を振り返り、これから先の「あったらいいな こんな福祉」の想いをはせる時間となりました。



### 2. 馬関まつり 令和6年8月20日(土)

恒例になりました馬関まつり！「愛のひろば」1年に1度”この会場で出会い、「なにしよった」「元気！」「それがいいね…」と会話が弾んで、メンバーの作品を出展するなど、みんなと一緒に楽しむ事が出来ました。これからも、みんなと楽しみながら支えていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

### 3. 成人を祝う会

「成人おめでとうございます」

メンバー、保護者等と共に祝いさせて頂きました。今回は、ダブル成人(40歳)の方と二十歳の方が主役となって開催されました。育む会からは、ご自身の印鑑をプレゼントさせて頂きました。

### ◎「じねんじょを育む会」会員のみなさまへ

平素より、本会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、本会は社会福祉法人じねんじょが行う各種の事業が円滑に運営され、ひとりでも多くの障がいがある皆さんが安心して利用ができ、より豊かな活動ができますよう支援をさせていただいています。これからも、継続また入会のご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

◎ (<http://www.jinenjo.or.jp>)

※「じねんじょ」ホームページに「育む会」を掲載しています。ご覧ください。